

2019年10月5日(土) 13:00～16:00

被爆証言と向きあう ⑬

## 義父の被爆体験記をめぐって

西村 桂子さん 岡崎 弥保さん



原爆投下4年後に書かれた貴重な手記が見つかりました

1945年8月6日当時広島第二中学校2年生だった西村利信さんは、戦後、千葉高校2年生のときに、所属していた文学クラブの冊子に原爆体験記を記していました。原爆投下から4年といえば、GHQの厳しい統制下で、原爆に関する報道は一切禁じられており、新聞・雑誌・本はすべて検閲され、原爆の記載があるものは没収・廃棄されていました。しかし高校の文芸誌であったため、西村利信さんの原爆体験記は奇跡的に検閲をのがれ、手元に残りました。

ぜひ多くの方々に知ってほしい、読んでいただきたいと思い、西村利信さんからその貴重な原本をお借りし、小冊子のデータにまとめました。

(…岡崎弥保さんのホームページから)



★ 場所；愛恵ビル 3F（公益財団法人愛恵福祉支援財団）

〒114-0015 東京都北区中里 2-6-1

→JR 山手線駒込駅（東口）から徒歩 2分・

または地下鉄南北線駒込駅から徒歩 7分

★ 参加費；1,000円（当日会場で集めます）

★ 会場と資料準備で、事前に申し込みをお願いします

★ 企画・申込先；竹内 良男

電話 = 090-2166-8611 アドレス = qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp



特別講座

第86回

テーマ(仮題) 長崎で被爆した韓国人「徴用工」の闘い

2019年10月12日(土) 14:00～17:00

河井 章子さん（韓国の原爆被害者を救援する市民の会）

広島・長崎で被爆した韓国人被爆者の「原爆手帳」の取得に長く関わることを通じて、向き合ってきた被爆者と徴用工の＜問いかけ＞を話していただきます。